



ますだ 市議会より



特集

P04 ▶☆高校生と考えるますだの未来!
「益田市子ども議会」
☆「議員と語ろう井戸端会議」

Pick up

P02 ▶第571回 8月臨時会及び
第572回 9月定例会における議会人事
P05 ▶第572回 9月定例会

構成について

第571回8月臨時会において、正副議長の改選が行われました。併せて、各常任委員会・議会運営委員会委員の指名、市長附属機関委員の指名等を含む議会人事の決定を行いました。また、第572回9月定例会において2つの特別委員会を設置し、各委員構成を決定しました。



副議長
なかしま けんじ
中島 賢治



議長
ささき けいじ
佐々木 恵二

正副議長就任挨拶

市民の皆さまには、日頃より市議会の活動並びに市政各般にわたり、深いご理解とご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

去る8月臨時会において、議長並びに副議長に就任いたしました。職責の重さに身の引き締まる思いであります。これまでの議員経験を活かし、公正かつ円滑な議会運営に全力を尽くしてまいります。

現在、当市は、少子高齢化や地域経済対策、激甚化する災害への備えといった多くの課題に直面しています。中でも、各分野における人材育成・確保は急務となっており、買い物・医療・福祉・交通・教育等、日常生活に不可欠なサービスを維持することが難しくなつてきている現状があります。これらの課題を乗り越え、市民の皆さまが安心して暮らせる、未来へ希望を持てるまちづくりを実現するため、議会全体が一つにまとまり、議論を尽くしていくことが不可欠です。

また、変革の時代を迎えて、超高齢社会への突入と人口減少に伴う社会構造の変容や、AIなどの技術革新・働き方の多様化など、私たちの住む地方都市へも多くの変化の波が押し寄せています。この変化を受入れ、さらに好機と捉え、市民生活の向上につなげていくことも議会の役割であると考えています。

議会の使命は、市民の皆さまの声に真摯に耳を傾け、それを市政に反映することです。これまで、議会の機能強化や情報共有、市民参加の推進に努めるとともに、開かれた議会の実現を目指してまいりました。議員と語ろう井戸端会議（議会報告会）や、主権者教育支援事業、議会広報紙の刷新もその一環であります。

今後も、建設的な議論を以て市民の皆さまに信頼される議会であり続けるとともに、議会一丸となつて施策の充実に取組んでまいりますので、引き続き、市民の皆さまの格別のご指導とご協力をお願い申し上げ、「挨拶」といたします。

議会運営委員会

委員長	河野 利文
副委員長	大賀 満成
委 員	豊田 浩
	河本 亮
	高橋 伴典
	中島 守
	林 卓雄

広聴広報委員会

委員長	河野 利文
副委員長	須藤一二三
委 員	豊田 浩
	斎藤 勝廣
	高橋 伴典
	安達美津子

議会だより編集委員会

委員長	安達美津子
副委員長	平原 祐一
委 員	須藤一二三
	永戸 明美
	斎藤 勝廣
	豊田 浩
	阿知波武雄
	高橋 伴典



中山間地域振興特別委員会

委員長	林 卓雄	副委員長	河本 亮
委員	永戸 明美	平原 祐一	大賀 满成
	河野 利文	安達美津子	中島 守
	福原 宗男		

特別委員会設置要旨

令和4年に議会提案で制定された「益田市中山間地域振興基本条例」に基づき、令和7年度に「(仮称) 益田市中山間地域振興基本計画」が策定されることとなっている。その計画を遂行する上で、人口減少や少子高齢化に伴う担い手の確保、生活機能・サービスの維持、魅力の継承、産業の振興など様々な課題を抱えている当市の中山間地域では、国・県・地域自治組織などの団体・組織と連携し、持続可能な地域づくりを進めていく必要があり、その調査・研究を行う。

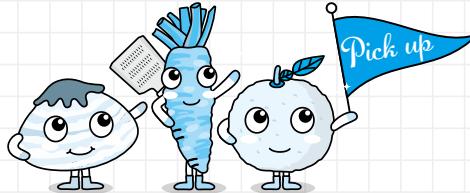
萩・石見空港対策特別委員会

委員長	大久保五郎	副委員長	斎藤 勝廣
委員	須藤一二三	豊田 浩	阿知波武雄
	高橋 伴典	中島 賢治	寺井 良徳
	久保 正典		

特別委員会設置要旨

萩・石見空港は、東京線において令和11年3月24日まで羽田発着枠政策コンテストにより、2往復運航が決定しているが、毎年進捗状況等の確認もあり、積極的な利用促進を図る必要がある。また、大阪線においても、運航期間拡大に向けた利用促進の取組が必要である。

そうした現状を踏まえ、当市にとって重要なインフラであり欠くことのできない萩・石見空港において、企業誘致をはじめとする空港を活かしたまちづくりや空港の多面的な利活用による賑わいの創出などに関し、調査・研究を行う。



第571回 8月臨時会 第572回 9月定例会

正副議長改選及び新しい委員会等の

議長 ささきけいじ
佐々木恵二

副議長 なかしま けんじ
中島 賢治

監査委員 なかしま まもる
中島 守

常任委員会名

委員長

副委員長

委 員

総務文教委員会



かわもと 河本 亮



すどう ひ ふみ 須藤一二三



ながと 永戸 明美



あちば はたけ お 阿知波武雄

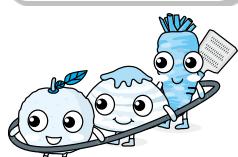


ひらはら 平原 祐一



こうの 河野 利文

福祉環境委員会



さいとう 斎藤 勝廣



とよた ひろし 豊田 浩



おおが みなり 大賀 満成



あだちみつこ 安達美津子



なかしま 中島 守



てらい 寺井 良徳

経済建設委員会



たかはし 高橋 伴典



おおくぼ ごろう 大久保五郎



なかしま けんじ 中島 賢治



はやし たくお 林 卓雄



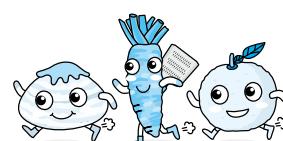
ふくはら 福原 宗男



くぼ まさのり 久保 正典

一般会計予算審査委員会

大賀 満成 高橋 伴典 議長を除く16名



議会選出各種会議

健康ますだ市21推進協議会会員

齋藤 勝廣

青少年育成市民会議委員

豊田 浩

益田地区国営対策協議会委員

高橋 伴典

市長附属機関

都市計画審議会委員

豊田 浩
齋藤 勝廣
中島 賢治
林 卓雄
大久保五郎

民生委員推薦会委員

佐々木恵二
中島 賢治

益田地区広域市町村圏事務組合議会議員

佐々木恵二	須藤一二三
豊田 浩	平原 祐一
齋藤 勝廣	河本 亮
高橋 伴典	中島 賢治
大賀 満成	河野 利文
林 卓雄	大久保五郎
寺井 良徳	久保 正典

高校生と考えるますだの未来！ 「益田市子ども議会」

写真で追う!!

子ども議会の一日！



当時は、議場での予行演習からスタート！

益田市議会では、次世代を担う子どもたちが議会の役割や市政について学ぶ機会である主権者教育支援事業の一環として、「益田市子ども議会」を実施しています。

今回は、令和7年1月24日（金）に実施した島根県立益田高等学校2年生の1日をレポートします。

高校生の視点から様々な提案やご意見を頂きました。
今後の議会活動に活かしていきます！！



子ども議会を
終えて、
議員との意見
交換会



取材も入る中、子ども議会が始まりました。
高校生の皆さん、緊張の面持ちです！！



一般質問を行う
高校生と
真剣に答弁する
市長・教育長

令和7年度も主権者教育支援事業（子ども議会、出前講座、議場見学等）に取組んでいます。

関係者の方でご要望がある場合は、ご希望の事業内容・実施時期・参加人数等について、事前に議会事務局へご連絡ください。事業の詳細をご説明の上、極力ご希望に添えるよう調整いたします。



「議会ってどんなことを話し合っているの？」

「私たちの意見は届いているの？」

——そんな市民の皆さまの声に直に接し、市政に反映させるための場として、「議員と語ろう井戸端会議」（議会報告会）を開催しています。——

例年、議会報告会では定例会における審議の様子や各委員会での審議内容についてご報告するとともに、市民の皆さまからの、日頃の疑問やまちづくりに関する貴重なご意見を多数いただいております。



次回の議会報告会は、皆さまからいただいたご意見をより深く掘り下げ、今後の施策にしっかりと反映させるための準備期間として、開催を令和8年4月以降へ延期することにいたしました。

開催日時や会場については、市議会だよりや市公式webサイトで改めてお知らせいたしますので、今しばらくお待ちください。益田市議会は、今後も市民の皆さまとの対話を大切にし、開かれた議会を目指してまいります。

重要なお知らせ

「議員と語ろう井戸端会議」 (議会報告会)について

一般質問

一般質問とは、議員が市の行財政全般について、市と政策討論するものです。令和7年9月定例会では、11名の議員が登壇しました。



※一般質問の様子の録画中継を、全会期日程終了の約1週間後から配信しています。

※会議録は定例会終了3カ月後から閲覧できます。

※各議員名の下の二次元コードからスマートフォンなどで質問者の動画をご覧いただけます。

益田市議会



第572回 9月定例会

9月定例会では、令和6年度決算及び令和7年度補正予算、その他条例改正などについて審議を行いました。

8/26 議会運営委員会

9/2 本会議
全員協議会

一般議案・令和6年度一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算・令和7年度補正予算等の上程

9/9 本会議 一般質問、
議会運営委員会

9/10 本会議 一般質問

9/12 一般会計決算審査特別委員会
令和6年度一般会計歳入歳出決算について審査

9/16 一般会計決算審査特別委員会
令和6年度一般会計歳入歳出決算について審査

9/17 総務文教委員会、
広聴広報委員会

付託議案について、総務文教委員会で審査
広聴広報委員会で、今後の取組内容について確認

9/18 福祉環境委員会
付託議案について審査

9/19 経済建設委員会
付託議案について審査

9/22 一般会計予算審査委員会
議会運営委員会
令和7年度一般会計補正予算について審査

9/24 本会議
全員協議会
各常任委員会委員長による審査結果報告
追加議案上程、議案等に対して質疑・討論のうち採決

問

電気自動車のインフラ整備を問う

答 ガソリンスタンドを必要としないため、今後の普及が期待できる



豊田 浩 議員



の電気自動車普及に向けた課題で
あり期待している。

問 当市では、自治体で初めてリ

バースオーバークション方式による電
力調達を試験的に実施し、電力コ

ストの抑制と温暖化対策を実現し

たが、今後はどのような展開が見
込めるか。

答 民間企業では、取引先企業から
脱炭素化の取組を求められる場面

も増えていることから、率先事例
の展開として、リバースオーバークショ
ンによる再エネ共同調達などのノ
ウハウ等、情報提供支援を行う。

問 今年3月に路線バスが廃止と
なった種線・梅月線・匹見線が現
在代替交通での運行となつてい
る。今後どのように変化していく
のか。

答 より地域の実情に即した見直
しを進めていく方針で、現在地域
住民との意見交換に向けた日程調
整を行っているほか、可能な範囲
での接続の改善や運行時間の調整
なども検討しており、持続可能で
安心して利用できる地域公共交通
の実現に向けて努力していく。



益田市の電気自動車

代替交通の運行はどうに変化するのか

答 可能な範囲で接続の改善や、
運行時間の調整なども検討する



永戸 明美 議員



答 社会福祉協議会と連携し、理
解啓発に取組みたいと考えるが、
市内や各分庁舎への回収ボックス
の設置は、スペースの問題等によ
り今すぐには取組ができない。

問 ペットボトルキャップの回収
によって、リサイクルと同時に途
上国にワクチンを送る支援ができる
の回収ボックス設置を問う。



リサイクル可能な
ペットボトルキャップ

個人質問



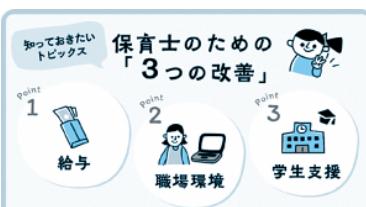
かわもと あきら
河本 亮 議員



外国人観光客に向けた公演



ひらはら ゆういち
平原 祐一 議員



保育士の働く環境は？3つの改善
(厚生労働省HPより)

問 万博での神楽公演の感想を問う

答 国内外に向けて魅力を発信し、
ポテンシャルの高い重要な観光資源である

問 万博での神楽公演を見学した
感想と、石見神楽の持つボテン
シャルについてどのように感じた
かを問う。

答 大阪・関西万博においては海
外からの観覧客も多く、国内外に
向けて魅力を発信できたと感じる。

石見神楽は単なる伝統芸能という
だけではなく、見る人を惹き付け
る力を持っている。非常にポテン
シャルの高い重要な観光資源の一
つであり、今後も可能性を最大限
發揮できるような取組を進め、観
光誘客につなげたい。

問 市民は昔から伝わる石見神楽
を継承しながら新しい取組にも積
極的に挑戦している。行政の関わ
りを問う。

問 保育士に対する当市の支援状況を問う

答 負担軽減や離職防止を進めている

問 保育士の働く環境は厳しく、
扱い手も減少しているため、近年
では国も処遇の改善を進めている。
配置基準の見直しも行われた。当
市の支援状況を問う。

答 保育補助者雇用強化事業を活
用し、業務負担の軽減や離職防止
を図るとともに、保育人材の確保
を進めていく。

問 保育体制強化事業も併用すべ
き。小規模の園では、部分的に
パート雇用を行う例もあり、事業
活用しやすいとの声もある。

答 ニーズを把握し検討したい。
問 国以上の配置基準を設け、フ
リー保育士の確保に向けた支援を行
っている自治体もある。

答 財源の確保が問題であり、現
時点では考えていない。

問 今年度4月から猫の不妊去勢
事業補助金が始まつたが、8月に
は予算が無くなつた。どう評価す
るか。

答 想定した申請件数で適切だ。
今後、相談があれば、島根県の事
業を情報提供する。

問 県事業はかなり倍率が高く活
用しづらい。当市の事業は思った
以上にニーズがあり、今後の財源
確保が重要である。動物愛護基金
を指定したふるさと納税を設け、
動物愛護のPRとともに財源を確
保する自治体も多数ある。

答 ふるさと納税の活用を含め、
先進事例を調査研究したい。

個人質問

問

答 AIを活用した劣化予測など上下水道DX技術を活用していく



こうの 河野 利文 としふみ 議員



用した劣化予測などの技術を活用し、管路更新の計画がより効率的に、少しでも早く進むよう取組むべきではないか。

問 全国で道路陥没事故が多発しており、当市でも複数の事例が発生。市内の上水管路の老朽化によるリスクをどう評価しているか。

答　八潮市における道路陥没事故を受けて緊急協議を開催し、地下埋設物による陥没事故発生に対する府内での連絡体制等を再度確認した。



市道における道路陥没

答 国の動向を踏まえ、当市の上下水道事業、耐震化更新計画について見直しを行つており、これまでの対処療法的な事後保全を行う手法から予防保全型管理への移行を進めていく。

点検等については、AIを活用した劣化予測など、上下水道DX技術を活用して、耐震化・老朽化対策を着実に実施していく。

問

答 今後の在り方を研究していきたい



たかはし ともり
高橋 ともり



答 W—I—F—I 案内については、窓側のテープルは暑くて使えない状況があるが認識を問う。

問 市民の居場所として利用しやすい公共施設にするために、スマートフォンなどの利用に必要な不可欠な電波環境、Wi-Fiの整備状況を問う。

答 指定避難場所である公共施設等に災害時の緊急通信のために整備しているが、平時においても利

用回数や利用時間に一定の制限を設けて利用できるようになつていきた。F-1環境の今後の在り方を研究し



益田市立図書館

答 魅力的な居場所の確保については、市民の暮らしやすさにつながり、移住定住の促進や関係人口の創出といった効果もある。さまざまな居場所の確保に努めたい。

問 市立図書館の環境整備について、緊急用W-I-F-Iにしても利用案内の場所が分かりにくい。また、陽射しが強い日が続く中で

る。制限のないフリーWi-Fiを望む声があることは認識している。状況を注視しながら、Wi-Fi環境の今後の在り方を研究していきたい。

盈山市立图书馆 8月16日 共有 0 页、 0 页

個人質問



なかしま まもる
中島 守 議員



問 多目的選果・集荷場建設を問う

答 主要産業の農業振興の観点から、かかるべき措置を検討したい

問 国が新設した事業を活用し、老朽化した飯田選果場とどう集荷場等多目的集荷施設建設整備の検討が、JAしまねにおいて進められている。本事業に市の負担義務はないが、独自の支援策の検討ができないか。

答 検討会議には、当市の担当者がオブザーバーとして出席し、当該事業に関する意見交換を行うなど、情報提供や事業実施に向けた調整を行っている。今後、事業計画の決定に伴い、支援の要望等があれば、当市の主要産業である農業振興の観点から、かかるべき措置を検討していきたい。

問 建設候補地として数力所あつた中で、当市所有の旧競馬場跡地の一角が立地的に有力な候補地で



老朽化が進む集荷施設

問 再生可能エネルギー設備にルール制定を

答 全国的な推移、法令整備等の進捗を注視し、対応する

問 他市の例では、太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例を設け、保証金預け入れ、質権設定契約の締結等を義務付けている。当市の条例制定を問う。

答 条例制定については他自治体事例の調査や、法整備の進捗等を見ながら、その必要性に応じて対応したい。

問 営農型太陽光発電は、当市のカーボンニュートラル施策とエネルギーの地産地消との一石二鳥の効果がある。農地の一時転用の許可申請が必要であるが、取組を問う。



おお く ぼ こ ろ う
大久保 五郎 議員



問 多目的選果・集荷場建設を問う

答 適切な継続が確実と認められる場合には、許可証交付となる。

問 市が管理する市道、農道での樹木の倒壊により車両の事故が発生している。管理整備の責任をどう考えるか。

答 倒木対策は、通常パトロール、豪雨・台風・地震後の緊急パトロールといった管理を実施している。倒木の多くは私有地・民有地からのものであり、伐採は困難である。樹木所有者に対する賠償責任の説明、沿道の伐採要請を行っている。

問 営農型太陽光発電設備の設置に伴う一時転用の許可申請は、通常の農地の権利移動の許可申請と同様である。申請内容から営農の

問

関係人口を有効に作用させる方法を問う

答 適切な対応を図る



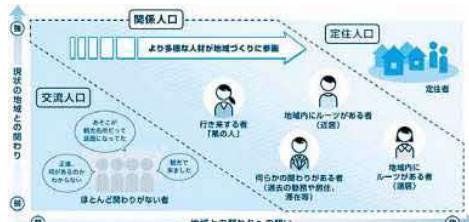
さいとう かつひろ 勝廣 議員



閣議決定された地方創生2・0基本構想の考え方のもと、人口の捉え方が変化してきているが、当市は関係人口をどのように捉え、有効に作用させていくためにどういったことを行おうとするのか。

答 地方創生2・0基本構想においては、人口規模が縮小しても社会を機能させる適応策を講じていくことが示され、関係人口も地域の活力を高める存在であることは間違いないと考えているため、適切な対応を図っていく。

問 主な生活拠点以外に、特定の地域に生活拠点を設ける暮らし方を「二地域居住」とし、国としても推進するが、この制度をどのように捉え、検討するのか、その考え方と取組状況を問う。



二地域居住・関係人口のイメージ
(総務省HPより)

問 関係人口の中でも、より定住人口に近い形で地域に関わつてもらう人々と認識している。自治体が主体となつて策定する特定居住促進計画の策定により、国の支援が受けやすくなると承知

しており、今後は島根県とも調整を図りながら検討を進めていく。

問 関係人口や交流人口とされる人に自治体が第2の住民票ともいえる登録証を発行し、ふるさと住民であることを公的に証明する住民登録制度を問う。

答 今後の国の動向を注視する。

問

国民健康保険の国庫負担割合の引き上げを

答 制度の安定に不可欠。国に対して強く要望している



あだち みづこ 美津子 議員



問 国民健康保険税は、市民から高いと批判してきた。これまで値上げされてきた1番の要因は、国庫負担の削減である。80年代の国庫負担割合は、約50%であったが、現在は約32%と削減された。国庫負担が削減された分、保険税に跳ね返つてくる仕組みになるため、保険税が高くなってしまふ。国に対して国庫負担割合の引き上げを求めるべきではないか。

答 全国市長会及び国民健康保険対策特別委員会において、毎年度2回、制度の改善強化に向けた要望を行っている。国庫負担の引き上げは制度の安定運営に不可欠な課題と認識している。重点要望と位置づけ、国に強く要望している。



市国民健康保険窓口

問 来年度より、子ども・子育て支援金制度が始まる。子育て世帯を支える新しい分かち合いとして、医療保険の保険料に賦課されるものである。子育て支援は必要だが保険料に賦課する手法は問題があると考えるがどうか。

答 医療保険制度で一定程度の負担を行うことは必要である。社会全体で子どもや子育て世帯を応援する機運を高めることにもつながるものと考える。

個人質問



あちばはたけお議員
阿知波 武雄



中学部活動の様子

問

部活動の地域展開を問う

答 児童生徒の声を踏まえ対応する

問 現行の教育ビジョンへの取組状況と今後の見通しを問う。

答 現行ビジョンは、6つの重点目標に対して14の評価対象事業を掲げて取組んでいる。見直しについては、総合教育会議において、子どもたちへのアンケート調査の結果も踏まえ審議されている。

問 児童生徒の思いを踏まえた部活動の進め方を問う。

答 本年2月にアンケートを行った結果を含め、児童生徒の声を大切にしていきたい。

議会の活動

7月～9月までの議会（議員）の活動の一部を掲載します。また、議長は議会の代表として総会などにも出席しています。※定例会・臨時会・委員会・調査会は除きます。

各種会議・催し物（出席者）

7/ 3(木)	「社会を明るくする運動」メッセージ伝達式（議長）
7/ 4(金)	石見美術館 企画展「加藤泉 何者かへの道」（議長）
7/ 7(月)	第146回益田地区広域市町村圏事務組合議会臨時会（広域議会議員）
7/10(木)	益田市青少年育成市民会議総会（議長・関係議員）
7/11(金)	一般国道9号（益田市～山口市間）整備促進期成同盟会総会及び勉強会（議長）
7/13(日)	2025年 寧波～日本友好都市交流対話会（議長）
7/14(月)	2025大阪・関西万博 中国パビリオン 浙江ウィーク・寧波デー（議長）
7/17(木)	山陰自動車道（益田～萩原）の整備促進に関する要望行動（議長）
7/24(木)	益田市交通対策協議会総会（議長）
7/28(月)	萩・石見空港利用拡大促進総決起大会（議長・各議員）
7/29(火)	長崎市議会行政視察受入（正副議長、広聴広報委員会正副委員長）
8/ 2(土)	島根県市議会議長会議員研修会（正副議長、各議員）
8/ 6(水)	十五日会（議長）、赴任医師歓迎事業（福祉環境委員会正副委員長）
8/ 7(木)	島根県市町村議会広報研修会（議会だより編集委員）、益田市民生委員推薦会（正副議長）
8/15(金)	寧波市交流写真展開幕セレモニー（議長）
8/19(火)	ペーパーレス会議システム研修（全議員）
8/20(水)	石西政経懇話会第256回定例会（議長）
8/21(木)	松江市議会行政視察受入（議長）
8/28(木)	山陰道等早期整備決起大会（正副議長、各議員）
9/ 6(土)	西部地区私立幼稚園教育研修会（議長）
9/12(金)	「救急の日」にかかる市民啓発街頭活動（福祉環境委員）
9/19(金)	第18回萩・石見空港マラソン全国大会実行委員会第2回総会（議長）
9/21(日)	山陰自動車道建設促進島根県民総決起大会2025（正副議長・各議員）
9/22(月)	岩本薰記念益田杯決勝戦前夜祭（議長・各議員）
9/28(日)	新「津和野町」発足20周年記念式典（議長）
9/30(火)	少年の主張島根県大会（議長）

7/14
月



2025大阪・関西万博
中国パビリオン
浙江ウィーク・寧波デー



8/28
木

山陰道等早期整備決起大会

議案等の審議結果

第572回 9月定例会

出席議員全員が賛成した議案

(全会一致で、議案は「可決」、人事案件は「同意」「適任」、認定案件は「認定」とされました。)

議案番号	件名	議案番号	件名
市長提出議案			
議第55号	益田市附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について	議第64号	監査委員の選任について
議第56号	益田市職員の育児休業等に関する条例及び益田市水道事業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	議第65号	財産の取得について
議第57号	益田市立デイサービスセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	認定第5号	令和6年度益田市市有林事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議第58号	令和7年度益田市一般会計補正予算第2号	認定第6号	令和6年度益田市匹見財産区特別会計歳入歳出決算の認定について
議第59号	令和7年度益田市介護保険特別会計補正予算第1号	認定第7号	令和6年度益田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議第60号	令和7年度益田市国民健康保険事業特別会計補正予算第1号	認定第8号	令和6年度益田市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
議第61号	令和7年度益田市後期高齢者医療特別会計補正予算第1号	認定第9号	令和6年度益田市下水道事業会計決算の認定について
議第62号	令和7年度益田市駐車場事業特別会計補正予算第1号	認定第10号	令和6年度益田市水道事業会計決算の認定について
議第63号	令和7年度益田市水道事業会計補正予算第1号	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
議員提出議案			
議第66号	中山間地域振興に関する審査について	議第67号	萩・石見空港対策に関する審査について
報告案件			
報第13号	専決処分の報告について	報第15号	資金不足比率について
報第14号	健全化判断比率について		

賛否の分かれた議案

(棄権、除斥があった場合も含みます。)

議案番号	件名	審議結果	賛成	反対	佐々木 惠二	須藤 一三	豊田 明美	永戸 浩	阿知波 武雄	平原 祐一	斎藤 勝廣	河本 亮	高橋 伴典	中島 賢治	大賀 満成	河野 利文	安達 美津子	中島 守	林 五郎	大久保 宗男	福原 良徳	寺井 正典
市長提出議案																						
認定第1号	令和6年度益田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
認定第2号	令和6年度益田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
認定第3号	令和6年度益田市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
認定第4号	令和6年度益田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	17	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 棄：棄権 除：除斥

※ 議長（佐々木 恵二）は採決に加わりませんが、可否同数となったときは、議長が裁決します。

★ 除斥とは★ 議会における審議を公正なものとするため、議題となった案件と利害関係にある議員をその審議に参加できないようにすることです。

令和7年度一般会計補正予算案など原案どおり可決

9月定例会では、令和6年度一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算・令和7年度一般会計補正予算のほか、条例の一部改正、一般議案等について慎重な審議をした結果、原案どおり可決・認定しました。ここでは、主な補正内容についてお知らせします。



令和7年度 一般会計補正予算 第2号

補正後の一般会計予算総額…… 288億1,688万3千円
補正額…………… 8億7,742万5千円 増額

総務費 地域振興費

乗合タクシー運行事業費 2,220万3千円
都茂線廃止に伴う都茂線代替交通の運行、バス停設置及び乗合タクシール線延伸等に伴う増額

民生費 児童福祉費

放課後児童対策事業費 1,961万4千円
放課後児童クラブにおける開所日数の変更及び加配支援員の配置に伴う委託料の増額等

商工費 商工費

日本遺産を活かしたまちづくり推進事業費 1,910万6千円
歴史を活かしたまちづくり事業貸付金の増額

土木費 道路橋梁費

道路維持補修費 5,655万3千円
除雪車修繕経費の増額、市道中島木部線陥没復旧経費の増額等

教育費 社会教育費

雪舟の郷記念館整備事業費 2,247万6千円
雪舟の郷記念館改修整備の詳細設計完了に伴う経費の増額等

災害復旧費 公共土木施設災害復旧費

現年発生公共土木施設補助災害復旧費 2,332万円
令和7年7月豪雨により発生した国庫補助を伴う公共土木施設災害復旧事業費

特別委員会審査結果

令和6年度一般会計歳入歳出決算について審査した結果を、抜粋して掲載します。

一般会計決算審査特別委員会

新たな「移住・定住」推進プロジェクト事業

問 令和6年度からの新規事業であるが、県外からの体験参加者数0人、県内市外参加者数5人。シェアースペース利用は通常開設日15人、イベント開催日64人の利用実績である。年間の開設日数を問う。また、移住定住を目的としているが、どういう人が利用していたか検証しているか。

答 シェアースペースは概ね週2日程度開設し、6年度は72日間開設した。利用者については地域在住者や、当市にU・Iターンした人が交流の場として利用した。また少しだが移住を検討している人の利用もあった。

問 今年度、大きく事業内容を変更している状況である。1年目の取組で反省点や課題点について、しっかりと検証しているのか。

答 初年の事業内容には、空き家等を活用したサードプレイスで移住検討者と地域住民とが交流する事業に加え、当市へのお試し移住体験を実施予定であった。しかし、当初予定した2回の体験のう

答 シェアースペースは概ね週2日程度開設し、6年度は72日間開設した。利用者については地域在住者や、当市にU・Iターンした人が交流の場として利用した。また少しだが移住を検討している人の利用もあった。

問 令和6年度は災害等の影響もあり補正を組み対応したが、6年度は大きな災害が発生しなかったため当初の予算内で対応した。

◇◇生活道路等整備事業

(私たちのみち事業) ◇◇

ち1回は中止、2回目は5名の参考にとどまつた。移住体験はハーベストが多く、想定した成果が出にくかった。まずは当市を知つてもうかる関係人口を増やす事業などつなぎ合わせ、今年度は事業を再編して取組んでいく。

問 これまで、補正予算を組み取組んできたが、今年度は不用額が発生している理由を問う。

答 令和5年度は災害等の影響もあり補正を組み対応したが、6年度は大きな災害が発生しなかつたため当初の予算内で対応した。

問 市民から寄せられた相談の中でも申請に至らなかつたものの理由を問う。

答 申請の費用と予算残との折り合いがつかなかつたものや関係住宅が2戸以上の生活道路及び排水路という要件に満たないものが

審査結果

各委員会で審査した結果を抜粋して掲載します。



路線バスの減便・時刻変更の方針示される

総務文教委員会

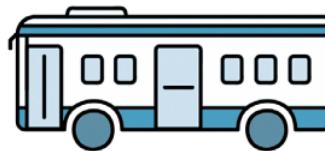
市内バス運行事業者から、令和7年10月1日を実施日とした路線バスの一部減便及び時刻変更について連絡があった。対象路線は横田線1便減便、日祝日について2便運休、1便時刻変更。浜田益田線1便減便。土田線2便減便、土日祝日について1便運休、1便時刻変更となり、実施の理由としては、利用者数の減少に伴い事業の効率化を図るためにされている。なお今回の減便・時刻変更による乗合タクシーへの影響はない。

市民の帰宅に影響は出ないのか。
答 浜田方面（益田駅17..40発）の最終便が減便となるが、土田線で対応できると考えている。しかしながら、停留所が違うなど系統に違いがあるため、利便性の低下はやむを得ない。

問 今回は減便が主だったが、今後も他路線の廃止など何があつてもおかしくない状況が続していくと思う。事業者と丁寧に協議し、乗務員への周知もしっかりと行なっていくことを要望する。

問 事業者に対し、当市はインセンティブ補助金（系統維持合理化促進補助金）の増額の要望に応じていない。他市は要望に応じていらないが、減便や路線廃止等は発生していないのか。

答 令和6年4月以降、大田市以西4市において便数の違いはあるが、減便等実施されている状況である。



福祉環境委員会

人権が尊重される社会の実現に向けて、差別や偏見をなくし個性や多様性を認め合い、誰もが平等に社会参加できる環境づくりのための施策を示した総合的な計画として改定する。改定においては、国、県の動向、市民への意識調査結果、法改正等、社会情勢の変化等の視点を踏まえた内容とする。

問 「益田市人権施策に関する市民意識調査」のアンケートの対象は、18歳以上で無作為抽出した1,000人としているが、設定の理由及び回収見込みを問う。

答 年齢については成年の取扱いが変更になつたため、18歳以上に設定した。人数については、前回と同様の設定とし、回収率50%を目指している。



益田市人権センター

◇◇地域医療◇◇

柏原出張所の診療体制の変更

益田地域医療センター医師会病院が、月に一回、柏原出張所の巡回診療を行つてたが、令和7年10月から前日までの受診予約制に変更する。周知については、二条地区の全世帯を対象に9月末までに実施する。直近の年間受診者は、令和5年度が11人。令和6年度は12人。令和7年7月までは、開所1回あたり0・33人の状況。

答 オンライン診療など、これららの運営は、医師会病院が僻地を含めた診療体系の方向性に関わるため、医師会病院と協議を重ねながら必要な支援について検討していく。全国にはさまざまツールの取組があるため、医師会病院・益田赤十字病院と協議していく。

益田市人権施策に関する基本計画

人権が尊重される社会の実現に向けて、差別や偏見をなくし個性や多様性を認め合い、誰もが平等に社会参加できる環境づくりのための施策を示した総合的な計画として改定する。改定においては、国、県の動向、市民への意識調査結果、法改正等、社会情勢の変化等の視点を踏まえた内容とする。

問 「益田市人権施策に関する市民意識調査」のアンケートの対象は、18歳以上で無作為抽出した1,000人としているが、設定の理由及び回収見込みを問う。

答 年齢については成年の取扱いが変更になつたため、18歳以上に設定した。人数については、前回と同様の設定とし、回収率50%を目指している。

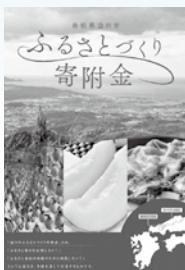
問 リモートなどを活用した新しい医療のあり方や僻地診療、医療の確保をトータル的に取組む必要性を問う。

答 オンライン診療など、これららの運営は、医師会病院が僻地を含めた診療体系の方向性に関わるため、医師会病院と協議を重ねながら必要な支援について検討していく。全国にはさまざまツールの取組があるため、医師会病院・益田赤十字病院と協議していく。

常任委員会

経済建設委員会

益田市ふるさとづくり寄附金の今後は



新しいふるさとづくり
寄附金パンフレット

ふるさと納税制度の制度改革の通知があり、10月1日からポイント制度が廃止されること、令和8年10月から、地元産の割合（特に加工品に関するもの）を明確にすることが示された。それに対応するため、10月15日に、事業者に対し、今のふるさと納税の状況や、総務省への対応について説明会等を実施する予定である。

問 魅力があるもの、全国に負けない返礼品の検討は。

答 特に、体験型のメニューを増やすことを検討している。萩・石見空港マラソン全国大会の出場枠、新規事業である絵画教室等、応募が多くなった。引き続き、益田ならではの体験ができるような新たなメニュー開発を、事業者と一緒に進めていく。



水道管の工事の様子

◇◇水道事業◇◇

問 水道事業会計決算の認定で、年間総排水量のうち、無効水量内において、年間25・9%の漏水量があつた。対策を問う。

答 老朽化による漏水量が増えているのは間違いない。これまでの対処療法的な対策から予防保全的な対策を行う。漏水調査についても、DXや衛星を使った方法等、研究していく。老朽管更新についても、平成29年から取組んでいるアセットマネジメントによって、耐震更新計画を遂行していく。

問 他の担当部課の不採択工事においては、財源振替で対応して実行するものもある。一方で、この学校施設環境改善工事は工事取り止めとなっている。今後の対応を問う。

答 今年度取り止めた事業については、来年度、補助金を申請していきたい。

問 次年度また不採択になると、延々と先送りになる可能性を危惧している。

答 補助金を活用できるように、国県に対して採択に向けて要望を行っている。すでに来年度の申請等も始まっています。計画も出しているという状況である。できる限り有効財源は活用しながら、その年度内において工事が実施できるよう進めていきたい。

※1 水道事業において1年間に供給される水の総量
※2 漏水や水道施設の損傷などにより、使用上無効となつた水量

◇◇有害鳥獣対策◇◇

問 現在、全国的にも当市において、クマの問題は市民の心配事として非常に大きくなっている。有害鳥獣対策は激務であると考えるので、今後しっかりと人員の増加も含めて体制強化を行っていただきたい。

答 クマの対応には、昨年も苦慮したところ。今年度は緊急銃猟という法律の一部改正があることから、県も、研修・講習会等を開催すると聞いている。状況を見ながら、考えていく。

◇◇大学連携推進事業◇◇

問 大学生等フィールドワーク推進事業補助金で、当初、大学生15名の当市への受入れということであったが、60人と大幅に増えている。具体的な内容を問う。

答 現時点で、早稲田大学から15名が来益。今後の予定では、東京大学から4名、その他数校から未確定ではあるが希望があり、それらを含めて60名を予定している。

一般会計予算審査委員会

学校施設環境改善交付金が不採択となる

令和7年度の学校施設環境改善交付金に係る申請件数は9工事、

その内採択が1工事、不採択が8工事となっている。交付金申請工事に係る不採択金額は3,928万8千円となつていい。

◇◇有害鳥獣対策◇◇

問 現在、全国的にも当市において、クマの問題は市民の心配事として非常に大きくなっている。有害鳥獣対策は激務であると考えるので、今後しっかりと人員の増加も含めて体制強化を行っていただきたい。

答 クマの対応には、昨年も苦慮したところ。今年度は緊急銃猟という法律の一部改正があることから、県も、研修・講習会等を開催すると聞いている。状況を見ながら、考えていく。

◇◇大学連携推進事業◇◇

問 大学生等フィールドワーク推進事業補助金で、当初、大学生15名の当市への受入れということであったが、60人と大幅に増えている。具体的な内容を問う。

答 現時点で、早稲田大学から15名が来益。今後の予定では、東京大学から4名、その他数校から未確定ではあるが希望があり、それらを含めて60名を予定している。

